



グリーンハート

緑のまちづくり協会は、市民・企業のみなさまと共に、一人一花運動に取り組んでいます。
緑のコーディネーター 309 人 地域の森づくり活動団体 21 団体 地域の花づくり活動団体 225 団体
花壇スポンサー企業 157 社 (令和4年9月1日現在)



一人一花
シヨット
@舞鶴公園

発行元 (公財) 福岡市緑のまちづくり協会



一人一花サミット2022



10/29 (土) から3日間、警固公園で花と緑のイベント「一人一花サミット2022」が開催されました。

オープニングセレモニーでは、花と緑のまちづくりに貢献した人をたたえる表彰式や、コンテスト受賞者の発表、トークセッションが行われました。

期間中は、寄せ植えや、フラワーアレンジメント、リース作りなどの体験、プロカメラマンによる撮影やフォトスポットなど多彩なブースが展開されました。

後日ホームページで動画配信されます。

一人一花サミット 🔍

一人一花表彰式



花と緑のまちづくり推進功労者表彰



一人一花フラワーガーデン
チャンピオンシップ2022 結果発表

ステージイベント



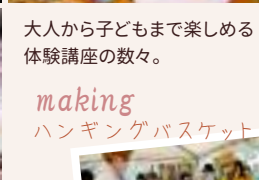
様々なステージイベントで大盛況!

トークセッション



一人一花運動がさらに広がって根付くために必要な人材や、仕組みについて語り合うトークセッション

出展ブース



大人から子どもまで楽しめる体験講座の数々。

making
ハンギングバスケット



受賞 おめでとうございます

第20回

花と緑のまちづくり賞

主催/公益財団法人 福岡市緑のまちづくり協会

この賞は、福岡市緑のまちづくり協会が地域の森づくり・花づくり活動団体の中で、他の団体の模範となるような活動を長年続けている団体を、外部の審査委員により審査し、表彰しているものです。

受賞 (3団体)



森を育て、人を育てる。

ぐりーんぱんだ

七隈緑地をはじめとする様々な場所での活動等を通して、将来森づくりに関わってくれる人材を育てています。



福岡市内の水道水の水源となる森林を守り育てる。

市民緑化活動グループ「わたしの木」

水源涵養林の大切さを子供から大人まで多く人に伝える活動をしています。



多種多様な人材の集まる団体。

ふくおか花と緑の連絡会

多様な活動を通して得た知識や経験を会員それぞれのフィールドで発揮し、まちづくりに貢献しています。

入選 (4団体)



今津元寇防塁・松原愛護会
地域と市民が一体となって元寇防塁遺跡及び海岸沿いの松原を守っています。



梅林ガーデンクラブ
地下鉄梅林駅出入口にあり、四季折々の花が地域の人を元気づけています。



おおまち自然と緑を楽しむ会
団地に隣接した広い花壇には多種多様な植物があり、地域の交流の場となっています。



和白東自治協議会オアシス「花かご」
充実した活動内容により花好きのメンバーが集まり、完成度の高い花壇となっています。

審査委員

西日本短期大学 教授 高宮 さやか氏 (委員長)
エコマルシェオニヅカ株式会社 代表取締役 井上 盛博氏
有限会社グリーンハウスベル 代表取締役 鐘ヶ江 奉一氏
福岡市住宅都市局一人一花推進部 一人一花推進課長
公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会 みどり課長

最終審査の候補になった受賞・入選団体のみなさまには昨年に引き続き有限会社グリーンハウスベル様からフクオカエフェクトで使える商品券を各団体1万円分協賛いただきました。

森づくり、花づくりを通して交流が生まれているのが素晴らしい。

成功例を多くの人に伝えていきたい。



受賞団体の紹介、評価された点、総評などはリーフレットや協会HPをご覧ください。



花と緑のまちづくり賞以外に全国規模の様々な賞を受賞されています。

第32回 全国花のまちづくりコンクール
花のまちづくり大賞 国土交通大臣賞



野間大池公園花学校



このコンクールは、花のまちづくりコンクール推進協議会が、全国で取り組まれている花のまちづくりの優秀な活動を顕彰し、社会に広く発信することで、全国で花のまちづくりが普及定着することを目的に毎年開催されています。今年度は応募総数 694 点の中より野間大池公園花学校が花のまちづくり大賞 国土交通大臣賞を受賞されました。

令和4年度 都市緑化功労者
国土交通大臣表彰



石井 康子さん

国土交通省は、毎年10月の都市緑化月間において、都市における緑化の推進、緑地の保全、都市公園の整備等に顕著な功績のあった民間団体又は個人を対象に、都市緑化功労者国土交通大臣表彰を行っています。

今年度は、石井 康子さん（福岡県福岡市）が「令和4年度 都市緑化功労者 国土交通大臣表彰」を受賞されました。なお、石井さんは「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会での表彰式にて、受賞者代表挨拶（謝辞）を述べられました。

令和4年度 ふれあいの森林づくり
国土緑化推進機構 理事長賞



三苦松林再生会

「ふれあいの森林（もり）づくり」とは、農山村と都市との連携、交流等により、分収林、緑の募金、森林ボランティア等を活用して森林整備を行い、都市住民、青少年、児童生徒等のふれあいの場となる森林づくりをいいます。

毎年、国土緑化推進機構は、この活動について顕著な実績がある団体を全国育樹祭において表彰しており、今年度は全国を受賞10団体のうちに三苦松林再生会が選ばれました。

緑のスケジュール

緑のスケジュールをみなさんの緑の活動にお役立てください。
みなさんで作るページです。掲載したい催しがある方は、
みどり課までご連絡ください。



福岡市植物園 URL botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/

福岡市動植物園総合 URL zoo.city.fukuoka.lg.jp/

詳しくはホームページ又は市政だよりをご覧ください

お手伝いしてみたい緑コ講座がございましたら、みどり課までお気軽にお問い合わせ下さい

新型コロナウイルスの状況に応じ、延期や中止になる場合があります。詳しくは、各機関にお問合せください



URL midorimachi.jp

☎ 822-5832 (みどり課)

11/27
⑨

森のクラフトワークショップ
クリスマスツリー・リースづくり
期間/10:30～ 13:30～
講師/植物園ガイドボランティア※入場料別途
定員/各回20組 (リースまたはツリー先着、事前申込不要)

福岡市植物園

10
⑤

緑コ紹介 手作りソラフラワーdeお正月飾り 香椎公民館
時間/10:00～11:30 講師/柴田 薫さん
参加費/500円 定員/20名

福岡市植物園

プチ盆栽づくり2
講師/手のひら盆栽教室櫻苑主催 櫻木 (横大路) 千絵さん
時間/13:30～ 参加費/2,800円
定員/20名 ※申込〆切11/26 ※入場料別途

29
⑧

緑コ紹介 親子工作教室門松づくり 笹丘公民館
時間/10:00～12:00 講師/グリーンリンク
参加費/1,000円 定員/15名

笹丘公民館

11
⑤

冬の野鳥観察会 福岡市植物園
講師/日本野鳥の会福岡市部長 小野 仁さん
時間/10:00～ 定員/30名 双眼鏡貸し出し有 (15台まで)
※事前申込不要 ※入場料別途 ※550円冊子代 (希望者)

福岡市植物園

12/3
⑤

緑コ紹介 多肉植物寄せ植え 玄界公民館
時間/9:00～12:00 講師/甲斐田 美妃さん

玄界公民館

17
⑤

親子体験教室リースづくり 福岡市植物園
講師/植物園緑の解説員 時間/13:30～
定員/10組 (対象:小学生)
※1組4人まで、参加人数と年齢をお知らせください ※入場料別途

福岡市植物園

4
⑧

焚火の時間 福岡市植物園
期間/12月4日～2月26日 (日曜・祝日)
時間/13:30～15:00 ※入場料別途

福岡市植物園

緑コ紹介 楽エコクッキング 若久公民館
時間/9:00～12:00 講師/松竹 恵理子さん
参加費/100円 定員/25名

若久公民館

20
⑧

緑コ紹介 ブレンド精油&アロマスプレー 博多市民センター
時間/14:00～16:00 講師/山隈 理恵さん
参加費/有料 定員/約20名

博多市民センター

レモングラスでしめ飾りづくり 福岡市植物園
講師/植物園ハーブボランティア
時間/13:30～ 参加費/1,000円
定員/20名 ※申込〆切12/7 ※入場料別途

福岡市植物園

6
⑧

花と緑のまちかど写真展 福岡市植物園
期間/12月6日～12月25日 ※入場料別途

福岡市植物園

緑コ紹介 エバーグリーンを使ったアレンジメント 南市民センター
時間/14:00～16:00 講師/熊崎 容子さん
参加費/1,800円 定員/20名

南市民センター

25
⑤

家族でお正月寄せ植え体験 福岡市植物園
時間/10:30～
講師/植物園ガイドボランティア
定員/30組 ※入場料別途

福岡市植物園



ちょっと！ボランティア体験してみませんか。

みんなで警固公園にチューリップ球根 500 個を植えます。



申込締切
12/7
水



と き 12月10日(土)
10:00～12:00
※雨天時は12月11日(日)
と ころ 警固公園(天神ソラリア前)
募集人数 30名
定員になり次第締切

参加される方は、汚れても良い
服装、マスク、手袋、飲料水
をお持ちください。



お申し込み 警固公園フラワーメイト
お問合せ先 090-3417-5662 (米倉携帯)

緑のレポート

投稿ありがとうございます

私は傾斜のある
エリアをチョイス☆

ねづくプロジェクト @福岡市植物園

今月はグリーンノートの読者の皆さまも大忙しだったのではないのでしょうか？
秋のガーデニングシーズンの到来と一人一花サミットで☆【ねづく】もサミット、満喫しましたよ!!

報告

緑のコーディネーター

愛が大盛り大森 愛さん



今月のプログラム

- 芝のオーバーシード見学
- 一人一花サミットの植物園会場
装飾計画～準備
- 「植物と光と色彩の関係」レクチャー
(講師：樹木医・清水さん)
- 展望台カフェ周辺の寄せ植え植替え
- 堆肥づくりのまとめと今後の方針決め
- サミットのワークショップの下準備
- 一人一花サミット／
宿根草ガーデン制作ワークショップ

BEFORE

傾斜地なんて
普段さわるこ
ないからさ！
経験♪経験♪

だいぶ斜めだなあ。
ちゃんと植わる
かなあ…

土、
超固いし…

固い土はこの鉤で
こうやって

へえ～

配管配線
注意！

樹木の根は少しくらい切っても大丈夫
です。スバっと切るとそこから新しい根
がはえてきて吸う力が強くなります。

AFTER

何も無いところに植えていくのは、
自分なりのポイントを据えるのが
大事だと学びました。

最後にぐり石や
パーク堆肥でマル
チングするとグッと
オシャレに

参加リポート

マレーグマ舎周辺の4つのエリアを宿根草ガーデンに！

宿根草ガーデン制作ワークショップは、以前の植栽を一新し、まっさらな状態から新しい宿根草花壇を作るという、なかなか経験できないワークショップでした。庭師さん達の指導を受けながら、1日で植付けを完了!!ハードでしたがかなり充実の内容でした。

福岡市農畜産物消費拡大推進協議会

花育体験教室

場 所 片江小学校
参加者 2年生 103名

報告

緑のコーディネーター

柴田 薫さん



カーネーション、ガーベラ、バラ等を使った
アレンジメント。



みんな上手でした～

2022紫陽花ワークショップ 水源の里でアジサイ鉢上げに参加して

報告

緑のコーディネーター
高井 カホルさん



いつも乗車していた曲渕行きバスが廃止となり、それに代わる地域を回るバスに乗り現地に着きました。

集合の時間まで近くを散策するとサラシナショウマ、ウドの花、タデの仲間ハナタレが咲いていました。

鹿野氏の説明で作業開始です。皆さんもう要領よく手慣れたものでどんどん進みます。

今年 6 月に挿し木したアジサイ苗は生長もよく根もしっかりしています。大き目のポット(20cmぐらい)に用土を入れ植えていきます。多勢ですと早い。ミツマタは竹包に入れ、このまま植樹しました。

手早く片付け、写真撮影をし、お茶をして終了となりました。来年3月は野河内に植樹予定です。



ウドの花

サラシナショウマ



のタネ

報告

エコ・ガーデンと愉快的仲間たち
西田 正光さん

5 年以上前筑後川中流域「道の駅朝倉バサロ」前のヒマワリ畑で譲って貰ったヒマワリの種を花壇や畑で毎年育てています。

ところが今年の畑のヒマワリ1本が、高さ 2m60cm程度、花の直径が 50cm弱（花びら迄入れて）迄に成長しました。見る人が「種を食べるのですか?」「こんなに大きなヒマワリ初めて見ました」と言う声に押され今迄は地域の人に配布していましたが、イベントで無料配布を思いつき、ヒマワリのタネを小さじ一杯（粒にして 20 粒強）づつ、小さなチャック袋に入れたところ 220 袋もありました（約 4500 粒）。



10 月 15 日～16 日福岡市役所西広場での筑後川めぐみフェスティバル会場ブース、長テーブルの隅にヒマワリのタネ、無料と書いて展示しました。あまり目立たないのか、遠慮するのか、なかなかさばけません。

満を期して直接手渡す事にしました。声掛けの 8 割の方が「くれるのですか、わざわざありがとうございます」と喜んで貰ってくれました。2 日間の 2 回に分けスムーズにすべて配布しました。

最後に「来年は綺麗な花を咲かせて下さい」と付け加える事忘れません。



四季折々の花と暮らし生ける華道家を敬う

専心池坊 佐伯支部創立90周年記念いけばな展

報告

おもてなし花壇協賛者
後藤 謙治さん

実りの秋・神無月。「空は水色 秋は唳唳と空に鳴る」^{*1}
(高村幸太郎) ^{*2}

大分県佐伯市大手町の旧三余館で開催された「専心池坊 佐伯支部創立 90 周年記念いけばな展」を鑑賞しました。

幸運にも、佐伯支部長の伊達梅宗さんとフラワーアレンジメント出瓶者（英国スタイル正教授）の安達靖子さんお二人に出会い、お話を聞くことができました。

支部長の伊達さんは、「本展は伝統ある古典花（立華、生花）、自由な花形の現代花、古典花と現代花の良さを合わせた新生花やフラワーアレンジメントとバラエティーに富んだ出瓶 53 点と対策（オブジェ）2 点を展示しています」と語り、鑑賞する私に寄り添ってそれぞ



生花
専心池坊日本総華督
専心池坊佐伯支部長 伊達 梅宗さん

れ生け方の違いなど、わかりやすく簡潔に説明してくださいました。

正教授の安達さんはご自身の出瓶について、「紫の色を基調に濃淡で表現しました。花材はリンドウ、トルコギキョウ、オーニソガラム、カーネーションです。」と話し、後日丁寧にあたたかいお便りをいただきました。



フラワーアレンジメント
英国スタイル生教授
安達 靖子さん

紫の色を基調に。花材は、リンドウ、トルコギキョウ、オーニソガラム、カーネーション。(本人)

安達さんからのお便り

「赤とんぼ」も飛びかい「コスモス」の花も風にそよいて穏やかな日です。「ウクライナ」の人々の事を思うと心が痛みます。

世界の片隅で「専心池坊 佐伯支部創立 90 周年記念いけばな展」を開催出来た事を紙に感謝しています。そして後藤さんにお会い出来た事も大きな喜びです。(後略)



短い時間でしたがお二人と接して、「心の四季」を思い出しました。「人に接する時は、温かい春の心。仕事をする時は、燃える夏の心。考える時は、澄んだ秋の心。自分に向かう時は、厳しい冬の心」（鮫島輝明 ^{*3}）

最後に鮫川柳一句

花咲かず 揚げ花近し 七十余

^{*1} 自然の恩愛を感じた時の詩人の清浄な心境が秋の澄みきった空のもとで語られる。 ^{*2} 日本の詩人・歌人・彫刻家・画家（1883-1956） ^{*3} 経営者（鮫島建設(株)代表取締役）（出典「秋の折」）

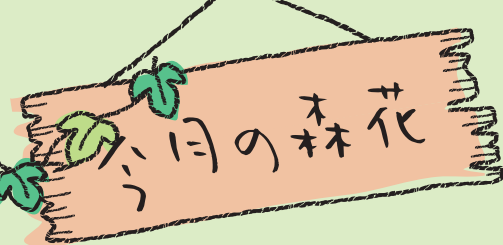
日比谷公園ガーデニングショー 2022

報告

緑のコーディネーター
森田 純子さん



たまたま立ち寄った日比谷公園でガーデニングショーが開催されてました。やはり東京は規模が違いますね！



久屋池緑地愛護会
会長 川内 眞起さん

今年で開設から13年（平成21年より）になります。

会員20数名ですが今年はコロナで実働10名前後でしょうか。当会も御多間にもれず高齢化で少しでも若い方の参加をお待ちしております。

久屋池緑地は、南区花畑の自動車試験場隣の二トリから外環状道路を挟んで向かいにあります。池の周りには450mの遊歩道があり、散策やジョギングの方、早朝のラジオ体操の方々に親しんでもらっています。



燃ゆるような
池の周りのケイトウ

過去には、池の周りの階段状の棚地は雑草が生えその管理に悩んでいましたが、有志の方々がアジサイやヒガンバナ、ひまわり等で景観をよくしようということで、この数年努力してきました。おかげさまで今では季節ごとに楽しめる緑地になりました。

最近は犬のオトシモノやたばこの吸い殻等のごみもほとんど見なくなり、地域の皆様も大事にして頂いていると実感しています。

会の活動は毎月1回夏場は月2回の清掃と除草、草刈りですが有志の方はほぼ毎日手入れに出ておられます。

当初は苗や花の入手に悩んでおりましたが、最近では緑のまちづくり協会による苗や種の無料配布などを利用して

みなすくレターで紹介されました！

緑のコーディネーター 長村 慶子さん



みなすくレター福岡市東図書館だより vol.40 の「あのひとの本棚」で長村慶子さんが『みんなの園芸店：春夏秋冬を楽しむ庭づくり』を紹介されています。みなすくレターは、なみきスクエアの東図書館 HP で閲覧できます。



福岡市東図書館 HP

『みんなの園芸店：春夏秋冬を楽しむ庭づくり』
大野八生／著 福音館書店

コロナ禍により家で過ごす時間も長くなりがちの今、福音館書店発行『みんなの園芸店』を覗いてみませんか？好きなページを開いて読んでいると広い庭がなくてもベランダや狭いスペースでも楽しめる植物に出会えるかもしれません。

作者の大野八生さんは、造園家でイラストレーターです。子供の頃から植物に親しんでいて、イラストも全て自分で描き、企画から出版まで9年間かかったそうです。

福岡市も「一人一花運動」で、街中が四季折々の花に彩られています。日々の暮らしの中で、花や緑に囲まれて心豊かな時を過ごしたいと思っています。

by 長村 慶子

メール 配信

メール登録者にお得情報を配信します

タネや苗の提供情報や、研修会やイベントのご案内など、お得な情報を不定期にメールでお送りします。配信をご希望の方は下記を明記の上、メールにてお申込みください。

①氏名②所属（活動団体名、緑のコーディネーター）

※対象は協会の助成を受けている緑の活動団体、緑のコーディネーターに限る

読者 アンケート

アンケートにご協力をお願いします

下記を明記の上、メールまたはFAX、webにてご応募ください。

①住所・氏名・年齢・電話番号②良かったページ③本誌に期待すること、ご意見など



webアンケート

グリーンノートへの投稿をお待ちしています

記事投稿は、内容を書面・メールにて提出してください。
12月号（12月20日発行）への投稿締切は11月30日です。

発行元・あて先

（公財）福岡市緑のまちづくり協会
みどり課

✉ ks@midorimachi.jp

☎ 822-5832

☎ 822-5848

